

目標値設定の考え方

例(1) 事故件数、死者数の目標値設定について、
プラン2009における減少率を延長し、設定する場合

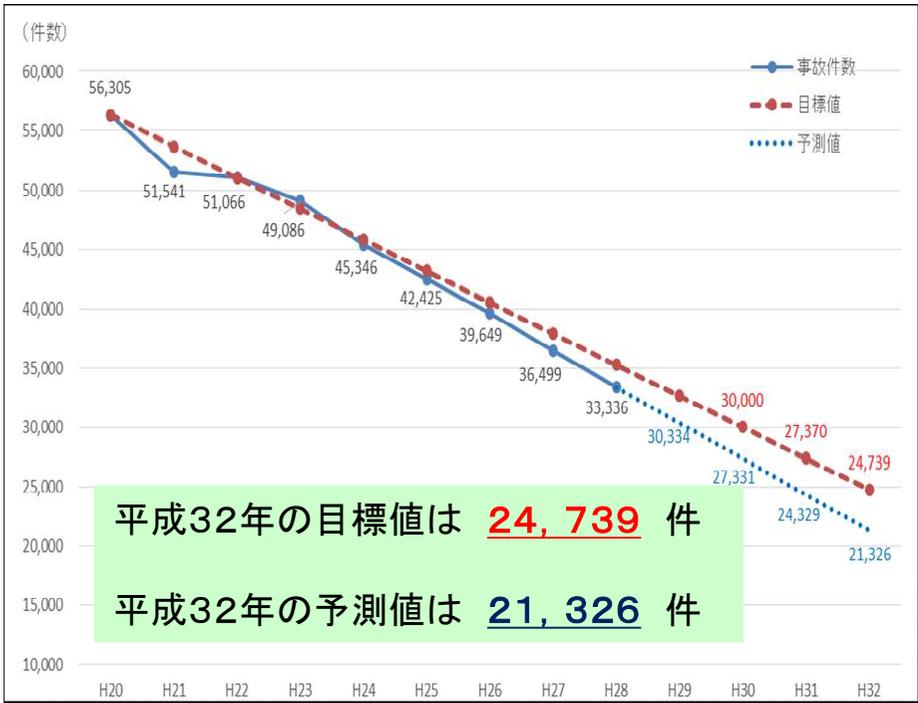
◎プラン2009における減少率を2年延長

事故件数 : 10年間で 26,305件減
死者数 : 10年間で 263人減

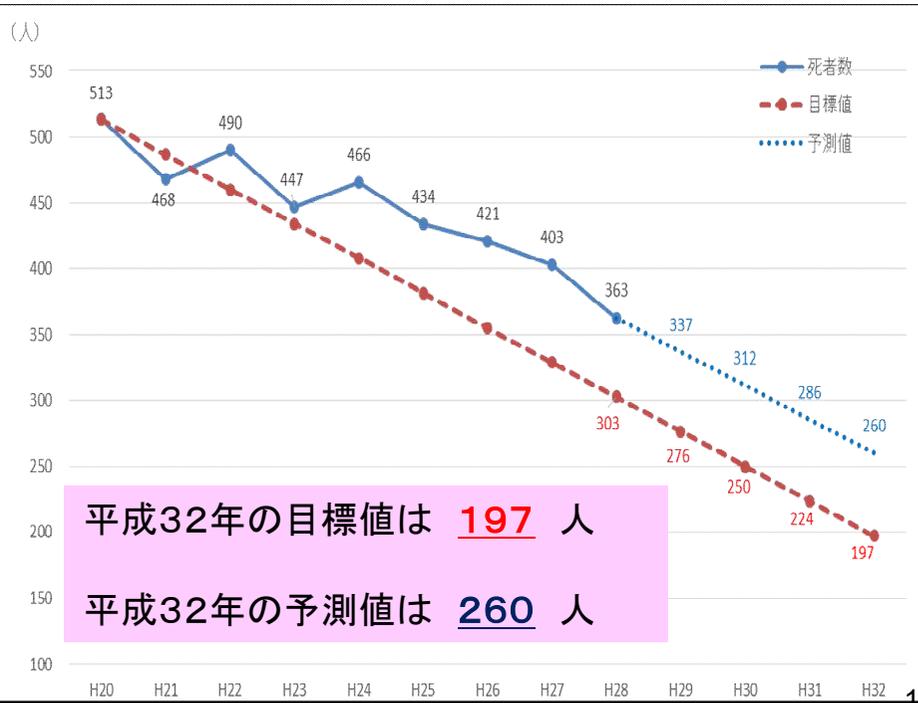
◎直近4年(平成24年~平成28年)の減少率のまま減少すると仮定

事故件数 : 4年間で 12,010件減
死者数 : 4年間で 103人減

事故件数の目標値・予測値



死者数の目標値・予測値



例(2) 死者数、死傷者数の目標値設定について、
交通安全基本計画の目標と同等の削減率から設定する場合

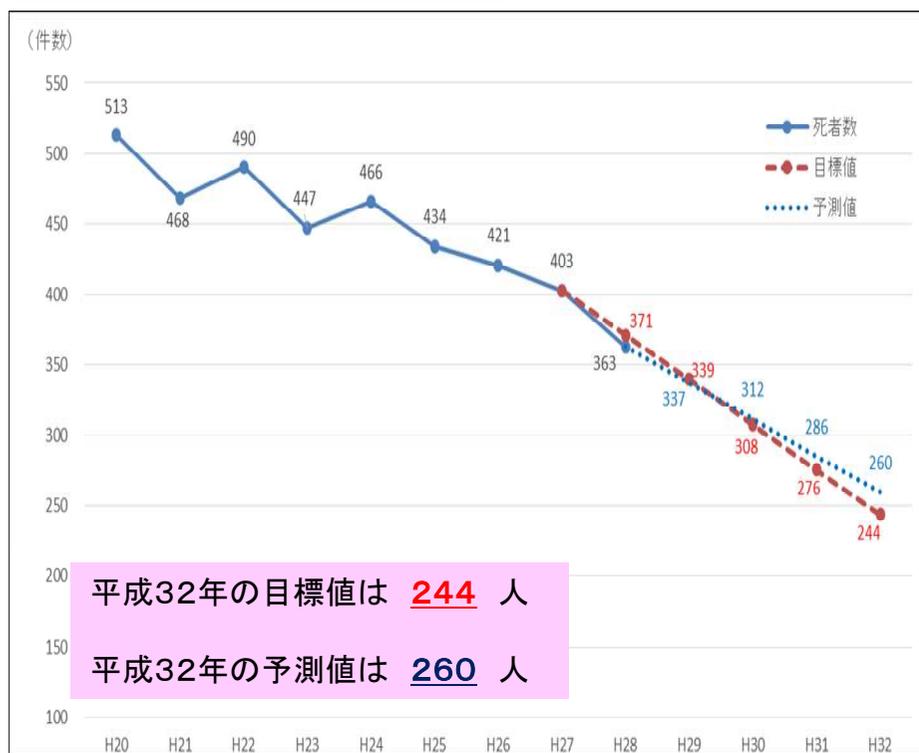
◎交通安全基本計画の目標と同じ削減率を目標とする

死者数：平成27年4,117人を平成32年2,500人 → **5年で39.3%減**
 死傷者数：平成27年670,140人を平成32年500,000人 → **5年で25.4%減**

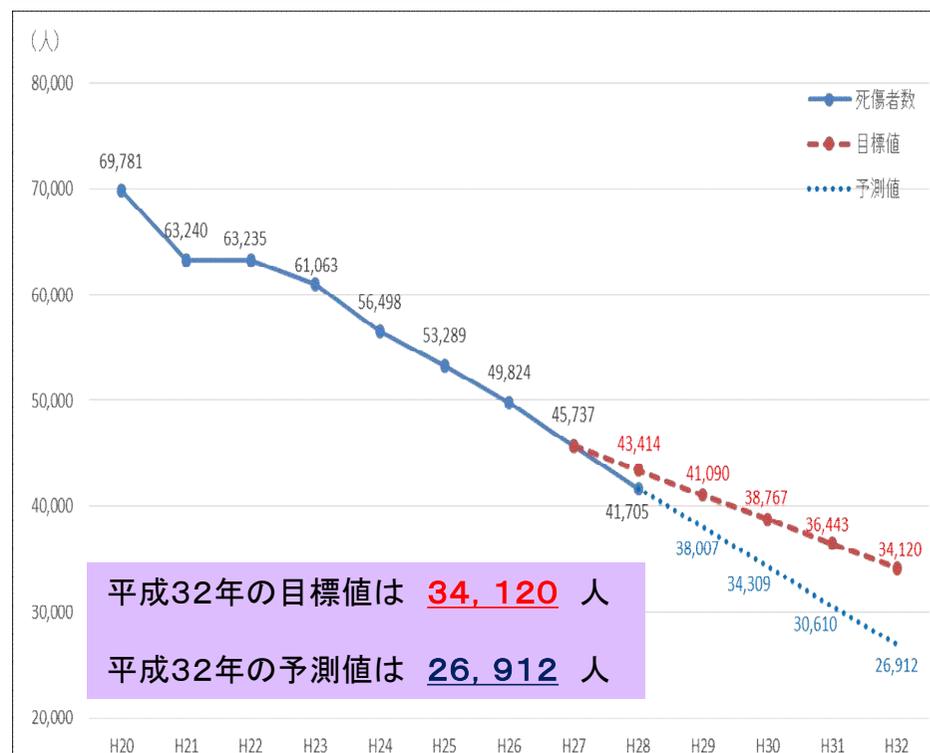
◎直近4年(平成24年～平成28年)の減少率のまま減少すると仮定

死者数：4年間で **103人減**
 死傷者数：4年間で **14,793件減**

死者数の目標値・予測値



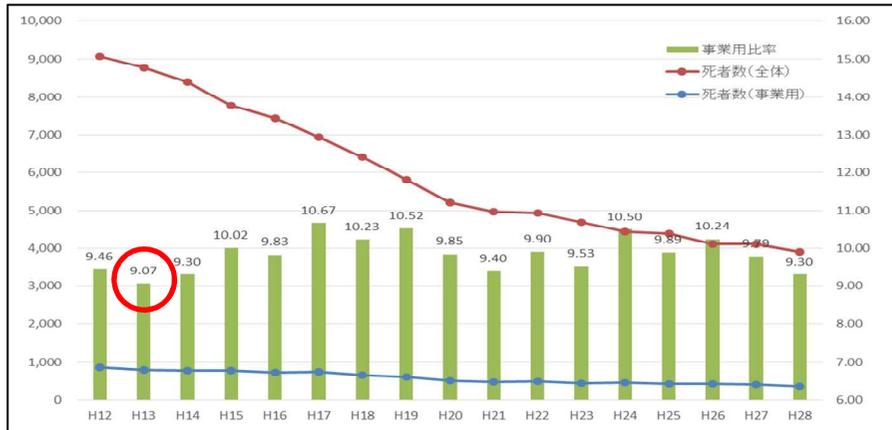
死傷者数の目標値・予測値



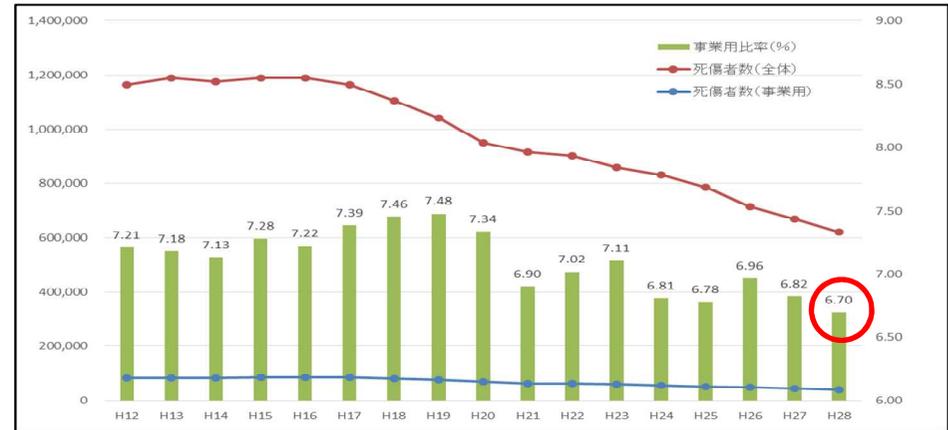
例(3) 死者数、死傷者数の目標値設定について、交通安全基本計画の目標に対し、過去の事業用比率の低い年と同等の比率を当てはめ設定する場合

◎過去(事故発生件数が減少に転じる平成12年以降)における、全体の死者数・死傷者数に対する事業用比率の最小値
 → 死者数 **9.07%** (平成13年) 死傷者数 **6.70%** (平成28年)

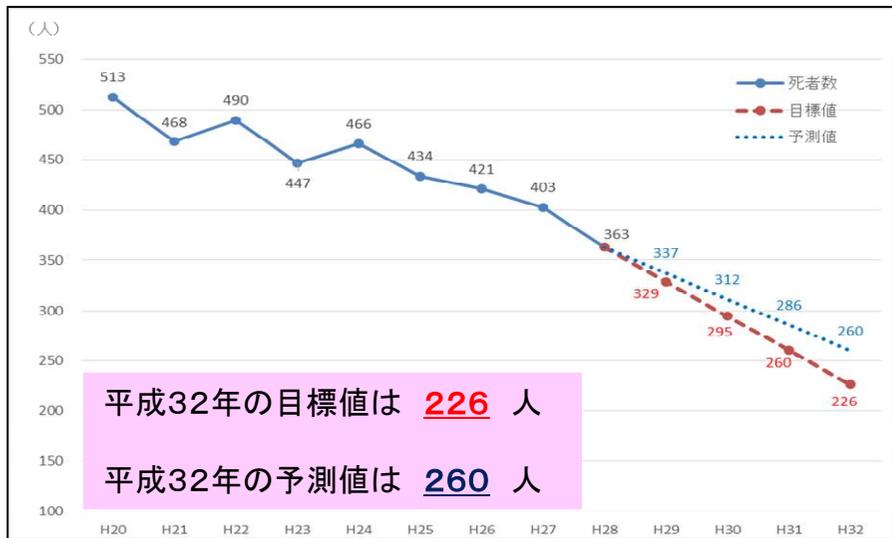
死者数の事業用比率の推移



死傷者数の事業用比率の推移



死者数の目標値・予測値



死傷者数の目標値・予測値

